



発行
江戸川区立
瑞江第二中学校
校長 滝澤 清豪
発行日4月10日
東京都江戸川区
瑞江4-54-1

入学式(4月8日) 校長式辞より

式辞

桜の花が咲き誇り、新入生の皆さんの入学を祝福しているかのような春の佳き日に、下鎌田小学校校長黒澤義和様をはじめ、PTA会長 石田裕様、そして多くの保護者の皆様にご臨席を賜り、令和7年度の入学式を挙げてまいりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、本年度は130名の新入生が、瑞江第二中学校に入学されました。皆さん、ご入学おめでとうございます。私たちは、皆さんの入学を心待ちにしています。本日より、皆さんは歴史と伝統のある瑞江第二中学校の一員です。

中学校での3年間は、小学校とは異なる経験や学びにあふれた、かけがえのない時間です。あつという間に過ぎてしまいかもしれません、その時間をどう過ごすかによって、皆さんの

未来は大きく変わります。本日は、その中学校生活をより豊かにするために、本校の教育目標についてお話しします。

本校では、「自立・貢献・生き抜く力」を教育目標に掲げています。これらの言葉はすべての教室に掲示され、毎日、皆さんの目に触れるものです。

まず「自立」とは、自分に責任を持って行動することです。中学生として、新しい制服に身を包み、新しい教室での学びが始まります。委員会や係、部活動など、自分で選んだ道に主体的に取り組むことが求められます。保護者に頼り切るのではなく、自ら考え、判断し、行動する姿勢を育んでください。

次に「貢献」についてです。人は何のために生きるのか―それは、社会の中で誰かの役に立ち、必要とされる存在になることでもあります。やがて皆さんも、学生から社会人へと成長し

ていきます。「人のためになる」「誰かの役に立つ」という経験は、自分自身の喜びや生きがいへとつながります。小さなことから構いません。身近な人や学校、地域社会に貢献できることを見つけ、行動してみてください。

最後は「生き抜く力」です。「やロボットの進化により、社会の姿は大きく変わろうとしています。そのような時代の中で、自分らしく幸せに生きていくためには、自分の力で道を切り開いていく力が必要です。他人との競争ではなく、自分の環境の中で、どうすれば自分らしく生きられるのかを考え、実行する力、それが「生き抜く力」です。

本校では、この「生き抜く力」を育むための具体的な手段として、「プレゼンテーション能力」の育成にも力を入れています。自分の考えを相手に分かりやすく伝えること、自分を正しく理解してもらうことは、これからの社会で生きてい

く上で欠かせない力です。

これから始まる3年間で、人前で堂々と自分の考えを話せるようになってください。私たちは、皆さんの挑戦を全力で支えていきます。今日お話しした3つの目標を心にとめ、自分を大切に、仲間とともに成長し合える、充実した中学校生活を送ってください。



保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠にありがとうございます。私たちは、思春期を迎える生徒たちの成長を支え、将来、社会に貢献できる人材として育てるため、日々教育活動に取り組んでまいります。「自立・貢献・生き抜く力」という教育目標のもと、ご家庭と連携しながら教育を進めてまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

春休み中には、部活動で皆さんの元気な姿が見られ、改めて学校という場で皆さんが活き活きと活動している様子の大切さを感じました。校庭や体育館で仲間と体を動かすこと、教室で楽器を演奏したり文化的な活動に取り組む姿は、学校生活の中でもひとときを輝かす瞬間だと思います。

始業式より (4月7日)

最後になりますが、本日はご臨席いただいたご来賓の皆様、そして保護者の皆様、心より御礼申し上げます。式辞とさせていただきます。令和7年4月8日
江戸川区立瑞江第二中学校長 滝澤 清豪

おはようございます。

今日から令和7年度が始まりました。皆さん、新たな学年を迎えるにあたり、心の準備はできていますか？そして体調は万全でしょうか？あつという間に過ぎてしまった春休み、しっかりと休養を取ることができましたか？

さて、本校の教育目標は「自立・貢献・生き抜く力」を育むことです。

今、この体育館には2年生と3年生が集まっています。明日には、新しい制服に身を包んだ新入生がこの学校に入学してきます。新1年生は期待や希望、そして少しの不安を胸に、これからの学校生活をスタートさせます。彼らから見ると、皆さんは年齢差以上に「大人びた」存在に映ることでしょう。だからこそ、先輩として広い心で1年生を温かく迎えてあげてください。

例えば、廊下で1年生が2、3人で教室を探してキョロキョロしていたり、職員室の前で戸惑っている姿を見かけたときには、ぜひ優しく声をかけてください。

「どうしたの？」「困っていることはないか？」といった一言が、彼らの安心につながります。

そして来年、次の新入生が困っている姿を見かけたときには、今度はあなたがその手を差し伸べる番です。そんなふうに助け合え、支え合える優しい学校を、みんなで作っていきましょう。

さて、本校の教育目標は「自立・貢献・生き抜く力」を育むことです。

自立とは、中学生としての新たな生活が始まる今、自分で考え、判断し、行動する力を育てましょう。委員会や部活動など、自ら選んだことに責任を持ち、主体的に取り組む姿勢が「自立」の第一歩です。

次に貢献とは、誰かの役に立ち、社会に必要とされる存在になることは、生きがいや喜びにつながります。まずは、身近な人や学校のためにできることから始めましょう。

3つ目は、生き抜く力。急速に変化する社会の中で、自分らしく生きるためには、自ら道を切り開く力が必要です。他人と比べるのではなく、自分の環境の中で、よりよく生きる方法を考え、実行する力を大切にしてください。

これからの1年間、皆さんの成長を楽しみにしながら、先生たちも全力で支えていきます。困ったときは、いつでも相談してください。令和7年度も、新たな挑戦と発見が待っています。前向きな気持ちで学校生活に臨み、充実した一年を過ごしていきましょう。

校長 滝澤清豪